

一般質問通告一覧表

令和7年12月定例会

通告順	氏名／件名及び要旨
5	(工藤 秀一)

1. 社会的孤立の解消に向けた対策について

(要旨)

家族や地域のコミュニティとの接触がない「社会的孤立」状態の人は増えており、社会問題になっている。町内には地域のボランティア活動や運動サークルまた、趣味の会など多種多様な団体がある。町報やホームページに団体が紹介されているが、どんなことをやっているか住民に周知されていないことも多いと思い質問する。

- (1) 町内にある団体のうち、社会福祉協議会に登録しているボランティア団体や、教育委員会に登録されている体育団体と文化団体に何か一つでも参加している方は、全体で何人程度の方がいるか。
- (2) (1)の団体の活動を紹介する冊子を作って住民に配布してはどうか。
- (3) 先月、町内で研修を受けて知った「社会的処方」はイギリスで広がっており、地域活動をつなぐ可能性を持つものとして注目すべき活動だと思う。社会的孤立を解消するために安平町でも社会的処方の取り組みを推進すべきではないかと思うが、考えを伺う。

2. 鳥獣対策について

(要旨)

クマ被害が全国的に大きな話題になっている。全国で死者数が過去最多を大幅に更新し安全安心を脅かす深刻な事態となっている。安平町も人への被害はないが、出没し捕獲する状況があるので住民も不安に思っているため、以下について質問する。

- (1) 過去3年程度にわたる町内でのクマ出没件数、捕獲頭数及びハンターの出動回数は。
- (2) 現状で町内のハンターの人数に不足があるという声はありますか。また、ハンターの報酬が低いとの報道を目にしますが、東胆振管内の市町ごとのハンターの人数と報酬額についてお尋ねします。
- (3) クマが市街地に入り、留まるような事態になった場合の対応について
 - ① 住民へはどのように伝えるか。
 - ② 麻酔銃の使用など捕獲方法の対策はしているか。
- (4) 国の対策として「クマ被害対策パッケージ」ができ、緊急対応の交付金などがある。その補助対象項目の中で安平町が緊急に必要と考えるものはあるか。
- (5) クマ以外の鳥獣対策にも使えるようだが、鹿やアライグマの捕獲数も年々増え続けていると聞く。捕獲以外に電気柵の設置など別の対策はないのか。

3. 防災対策について

(要旨)

7月30日にカムチャツカ半島付近の地震で道内各地に津波警報が出され、安平町にも避難所開設された。

9月20日から21日にかけては暴風雨で町内に避難指示が出され、2か所に避難所が開設された。

この2件について確認したい。

(1) カムチャツカ地震の津波警報

- ① 7月30日の太平洋岸津波警報による避難者はどこから何名きたのか、避難所はどこに開設したか。
- ② 津波警報で町外から避難者が来ることは想定内であったのか。
- ③ 千島沖や日本海溝で巨大地震が発生した場合に、津波による町外からの避難者と町内で被災した避難者両者を受け入れる態勢を想定しているか。

(2) 9月21日の避難指示について

- ① 避難所及び対象世帯・人数、実際の避難者数を伺う。
- ② 避難しなかった方の理由を確認しているか伺う。
- ③ 避難しなかったことに対する対策を伺う。

4. 追分地区のメガソーラー計画について

(要旨)

追分地区の鹿公園そばにメガソーラー建設を東京の企業が計画しているとのことで 12 月 5 日に新聞報道があった。安平町はゼロカーボンを目指し再生可能エネルギー導入を推進しているが、この鹿公園そばに計画のメガソーラーについては中止を求める住民の声が多くあるので以下の点について質問する。

- (1) 中止を求める署名が 900 筆との報道だが、もし建設となれば、① 計画地近くには追分地区に供給する配水池があり、その地下には配水池の水道管が埋設されている。② 周辺の鹿公園は日本最古の保健保安林であり、こここの自然を住民は大切に思っている。

これらのことから生態系や景観への影響に不安を感じるため、安平町所有の代替地があれば事業者に建設予定地と交換提案を行い鹿公園周辺を町所有にしてはどうかと思うが考え方を伺う。

- (2) 安平町太陽光発電の設置に関する条例第 5 条(禁止区域)に、町長は災害の防止、良好な自然環境、住環境の保全ため、特に必要と認められる区域を太陽光発電事業の実施の禁止区域として指定するものとするとある。この鹿公園周辺は、この条例の禁止区域に該当するのか。